

愛知県における古代・中世の鉄器生産 その1

鈴木正貴・蔭山誠一

1. はじめに（目的と視点・研究史・方法）

日本における鉄器は、弥生時代以降急速に普及し弥生時代後期から古墳時代前期にかけて石器から移り変わる。愛知県においてもほぼ同様の傾向がうかがわれ、鉄器の出土例が時代が下るにつれ増加することからも首肯される。しかしこれらの鉄器生産を担った鍛冶・铸造工人や工房のあり方、基本的に鉄鉱石・砂鉄を産しない尾張地域における鉄素材の供給の受け方といった当時の社会全体に係わる問題について考古学からの検討はほとんどされてこなかった。

愛知県においては、未だ古墳時代以前の鍛冶・铸造などの鉄器生産に関する遺構・遺物はあまり調査されたことがない。奈良時代から平安時代以降には鍛冶の痕跡と思われる鉄滓の出土が次第に多くなり、中世においてはかなりの遺跡においてその出土が確認されている。しかしこれまで明確な鍛冶遺構などがあまりまとまって検出されていないこと⁽¹⁾、鉄滓などの鉄資料は包含層中からの出土が多く、時期決定が困難な場合が多いことなどから、愛知県下における鉄器生産の検討は古代や中世の遺跡出土鉄滓などの化学分析を含めた検討⁽²⁾がなされている以外はまとまった報告がされていない⁽³⁾。

また他県の古代・中世においても、鉄器生産に至る製鉄・大鍛冶・小鍛冶といった各段階の調査・研究は最近の『季刊考古学』で特集がなされたように古代の製鉄遺跡と一部の城館跡や町遺跡を除いては十分な資料蓄積はされておらず、資料の掘り起こしはこれからの課題と思われる。また金属学的にも銑鉄からの鋼製造の実証において、新たな見解が見られるようになり、考古学的な分析との対応も今後の課題のようである⁽⁴⁾。

以上の研究状況から⁽⁵⁾、本稿では愛知県内の古代以後の遺跡において少量ながらも、ほとんどの遺跡で出土する鉄滓や鉄製品、鉄片などの未製品を検討し、出土状況の傾向から古代・中世の鉄器生産の様相を探るための2・3の可能性を示したい。

2. 鉄資料出土遺跡の概況

（1）検討に取り上げる3遺跡（第1図）

今回検討する遺跡は、一つの地域で一連の遺跡群としてある程度その様相が明らかになってきた遺跡で、当埋蔵文化財センターが近年調査した稲沢市堀之内花ノ木遺跡⁽⁶⁾・同大縄遺跡⁽⁷⁾・同儀長正楽寺遺跡⁽⁸⁾を取り上げる。

（2）稲沢市堀之内花ノ木遺跡（第5図）

木曾川から派生する三宅川が稲沢市内に入り、国府宮から儀長町の範囲で顕著な蛇行ループ状の流路をみせる地域にあり、三宅川左岸の自然堤防上に立地する。尾張国分寺跡の南縁が東西約420mにわたって調査されている。西から東にA区～H区に分かれており、A区・B区・C区・D区・Ea区・Fa区において古代（8世紀～9世紀）の遺構があり、尾張国分寺の成立と廃絶に関連して3段階が設定されている。C区・D区の東半部からEa区・Fa区を中心に集中する傾向があり、国分寺の寺域の一部を区画すると思われる溝と竪穴住居などが分布している。中世（12世紀後半～15世紀前半）の遺構は、Ea区・Eb区・Ec区・Fa区・Fb区・Fc区・G区・H区に分布しており、12世紀後半～13世紀前半の土坑群と13世紀後半～15世紀前半の区画溝が掘られる2時期に分けられている。特に、区画溝・土坑はEa区・Fa区からG区にかけて集中している。その

他に古代の遺構分布に重なって弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居等の遺構と、B区からG区にかけて近世の溝4条・土坑1基がある。

鍛冶に関しては、8世紀後半のSD13から鍛冶滓片、9世紀のSD30から炉壁片が出土したことから該期に周辺で鍛冶が行われたことが想定されている。

(3) 稲沢市大縄遺跡 (第6図)

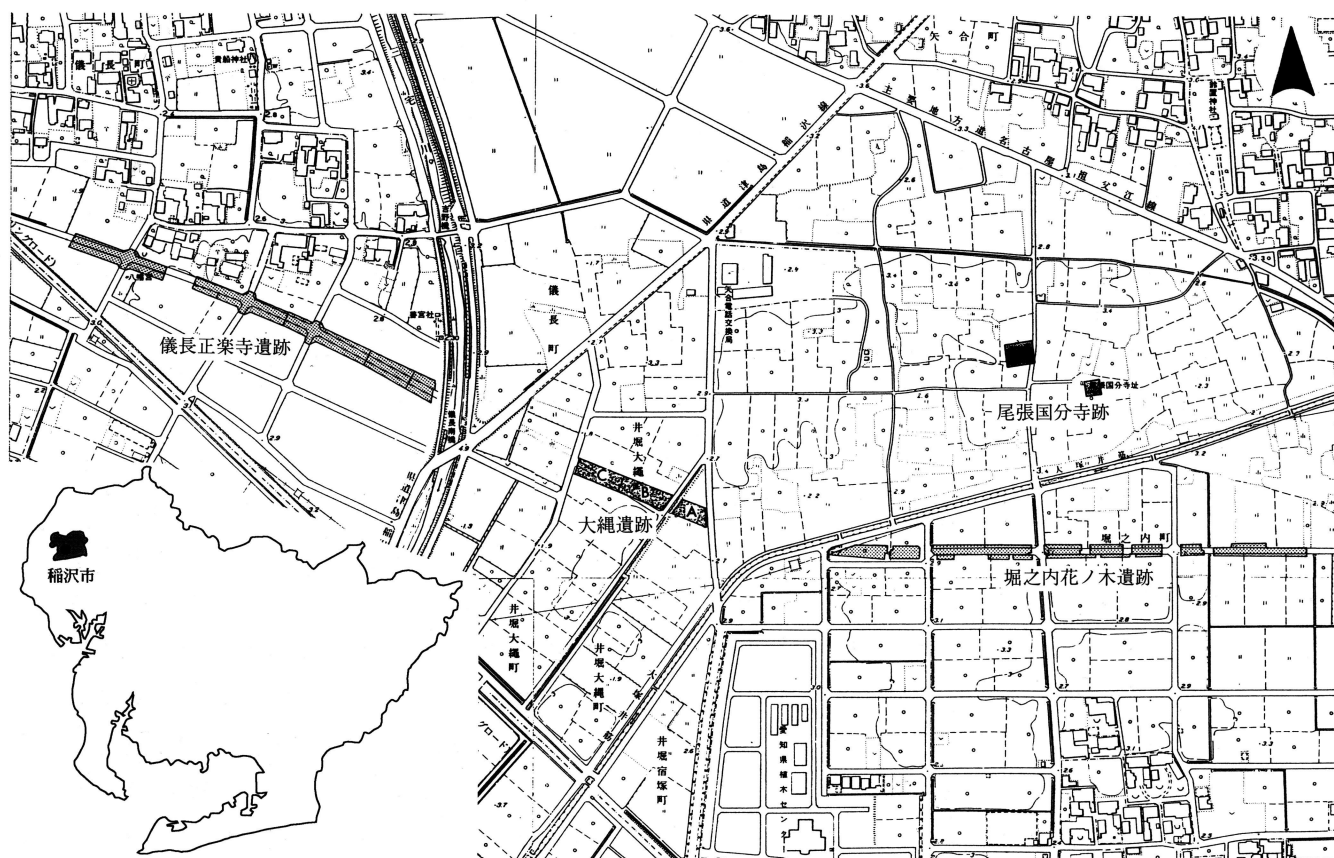
三宅川左岸自然堤防上に立地する遺跡で、堀之内花ノ木遺跡の西200mに浅い谷を挟んで隣接する。東南東から西北西へ約120mにわたって調査されている。東から西にA区・B区・C区と分けられており、B区において中世(13世紀～15世紀前半)の区画溝・用水用溝・土坑群が確認されている。この他に、古代の瓦・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器等も出土しているが、古代の遺構は不明である。

(4) 稲沢市儀長正楽寺遺跡 (第7図)

三宅川右岸の自然堤防上に立地する遺跡で、大縄遺跡から三宅川を挟んで、西約200mの地点にある。東南東から西北西へ約360mにわたり、東から93区・94A区・94B区・94C区・94D区に分けて調査されている。遺跡は古墳時代前期～江戸時代の複合遺跡で、12世紀後半～14世紀前半の時期に区画溝に囲まれた居住地が93区・94A区・94B区の東側と94D区の西側に展開している。遺構としては掘立柱建物6棟、柵2条、井戸11基、土坑多数があり、5段階の遺構変遷が考えられている。

3. 鉄資料の観察

遺跡から出土する鉄資料には、製鉄する前の鉄鉱石・砂鉄、製鉄・鍛冶といった鉄加工に伴って生成される鉄滓(金糞)、遺構の一部である炉



第1図 遺跡位置図 (1:7500)

壁・鞆の羽口、鉄加工に必要な溶媒材や燃料、各工程で使われる道具類、鍛冶の段階で出される未製品・製品がある。

今回検討を行った鉄資料には製鉄の段階に関するものではなく、鍛冶に伴う鉄滓、鉄製の製品・未製品、炉壁、鞆の羽口があり、その大部分は鉄滓と鉄製の製品・未製品である。他に鍛冶に使ったと思われる溶媒材については今回自然科学的分析を行っておらず、遺物の中から区別して抽出することもできていないので取り上げていない。また鉄加工に使ったと思われる道具類も出土していない。

ここでは上記の3遺跡から出土した鉄資料の
(1) 肉眼的観察と簡易な検査を行い、一覧表を作成し、(2) 各遺跡の鉄資料の傾向とその出土傾向を分析した。今回の観察では『清洲城下町遺跡Ⅴ』で実施した⁽⁹⁾ 方法を基礎にしているが、a 種別、g 金属反応、l 炉材、m ガラス質の項目については基準を変更している。

(1) 鉄資料の肉眼的観察と簡易検査の調査方法 (第2図～第4図、第1表～第5表)

鉄資料について以下の13項目の調査を実施した。

a 種別

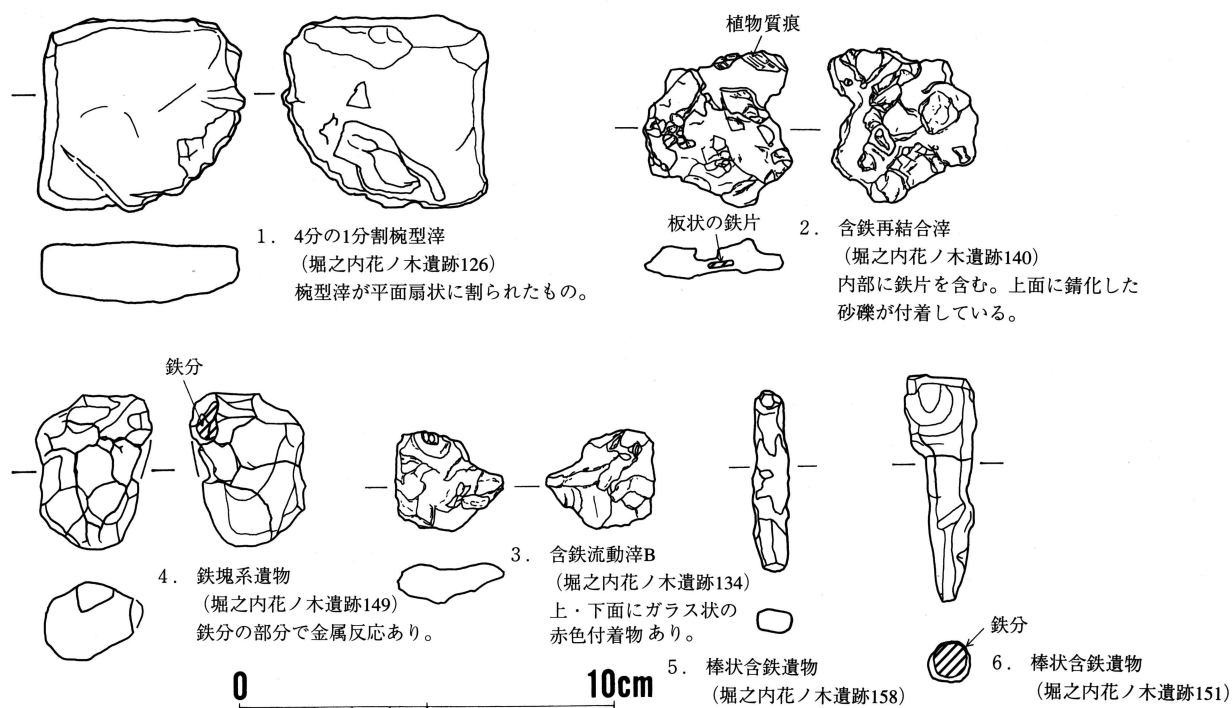
表面観察による形状分析を基本に一部 f 着磁度反応と g 金属反応の分析を利用して以下のように種別を分けて表記した。

形状から鉄滓は梔型滓・流動滓・再結合滓・鉄塊系遺物に分けられる。また、f 着磁力反応・g 金属反応から反応のある含鉄鉄滓とない普通の鉄滓とに区分した。形態的に釘と分かるもののみ釘と記載した。

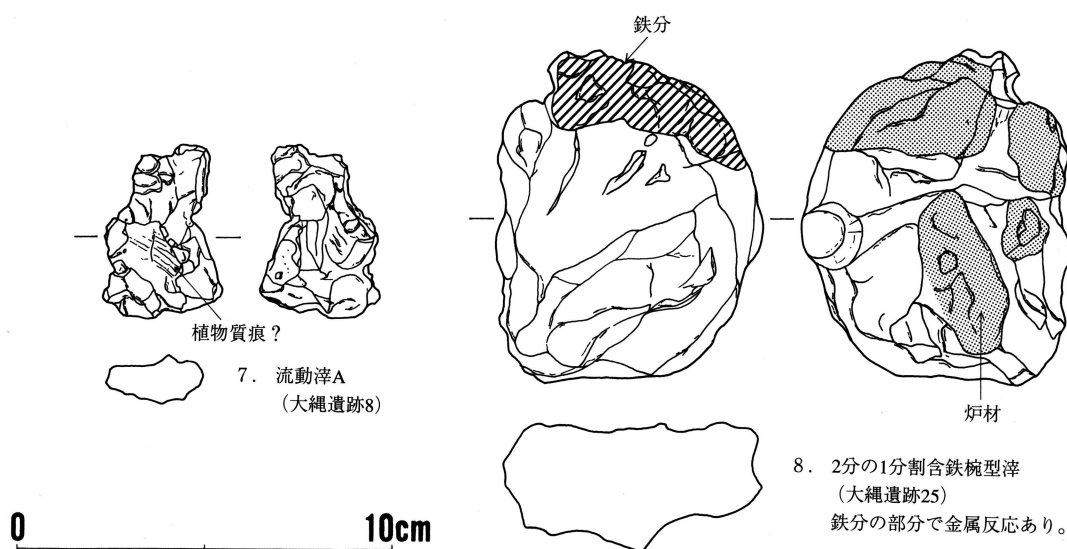
ここで種別したものについて示す。

鉄滓…製鉄・鍛冶の鉄加工の各段階で原料及び半加工品・廃棄物を炉の中で溶融させた際に生じる非鉄成分が多い滓部分。

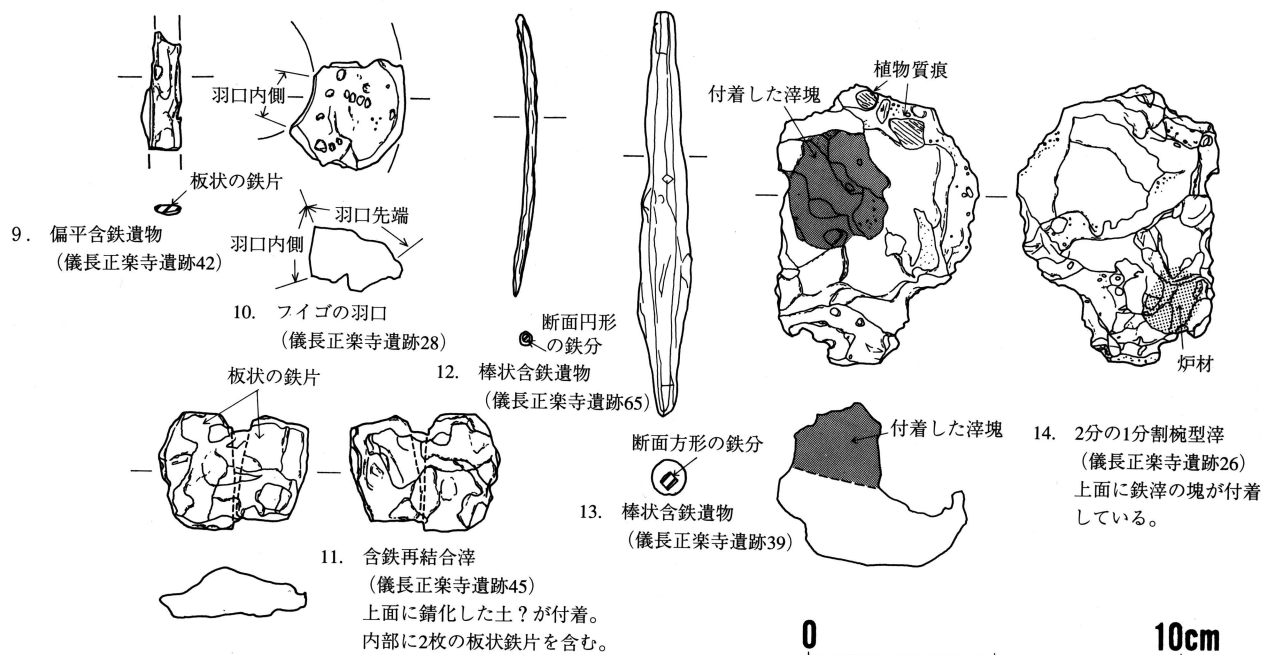
梔型滓…鍛冶の段階に炉の底の部分に生まれる鉄滓、炉の底の形を反映した平面円形断面梔型の形になる。大部分のものが2分の1、4分の1、8



第2図 堀之内花ノ木遺跡出土鉄資料 (1:2)



第3図 大縄遺跡出土鉄資料 (1:2)



第4図 儀長正楽寺遺跡出土鉄資料 (1:2)

分の1に破割りされている。鉄分を含んだ含鉄椀型滓 (第3図8) と含まない普通の椀型滓 (第2図1、第4図14) がある。

流動滓…一般には流動状の鉄滓で、製鉄炉・鍛冶炉の内外で生成された鉄滓をいうが、今回は椀型滓・再結合滓以外の鉄滓を全て含んだものをいっており、b形状には偏平・礫状・凸凹のものがある。椀型滓に比べて小型である。mガラス質の様

子でガラス質1と2の流動滓A (第3図7) とガラス質2の流動滓B (第2図3) の2種に分けている。

再結合滓…鉄滓や鉄製品・半製品、小石粒等が熱の他に水分や土圧等で再び付着した鉄滓状のもので、椀型滓や流動滓のように構造的形態をしていない。鉄製品・半鉄製品等の鉄分を含んだものを含鉄再結合滓とした (第2図2、第4図11)。

鉄塊系遺物…いわゆる鉄塊で、表面観察では鉄分の錆膨れによる表面のひび割れが特徴で、整理後分裂しているものもある。f 着磁度反応の強いものが多く、g 金属反応のあるものがある（第2図4）。

含鉄遺物…鉄製品・半製品の錆膨れした鉄滓状のもので、そのほとんどが刀子・釘・鉄片の錆膨れしたものと思われる。高師小僧も含まれる。b 形状から偏平（第4図9）・棒状（第2図5・6、第4図12・13）・礫状のものがあり、g 金属反応を残すものもあるが、相対的にf 着磁度反応は弱い。

b 形状

資料の形状を礫状・偏平・凹凸・椀型などに区分して表記した。

c 完欠

資料の遺存状況を示した。椀型滓はほとんどが割られた状態で出土しているため欠となっている。

d 重量

資料の全重量を1 g単位で計測した。

e 法量

資料の長径・短径・厚さを0.1 cmの単位で測定した。

f 着磁度

直径30mm・1300 Gauss（0.13 Tesla）のリング状フェライト磁石を用いて、着磁反応を示す距離を測定し、0から5までの6段階に着磁度を区分して表示した。

0…全く反応しないもの

1…0 cm～1 cmの範囲で着磁反応するもの

2…1 cm～2 cmの範囲で着磁反応するもの

3…2 cm～3 cmの範囲で着磁反応するもの

4…3 cm～4 cmの範囲で着磁反応するもの

5…4 cm～5 cmの範囲で着磁反応するもの

g 金属反応

簡易な金属反応器（松下電工、壁うらセンサー、

プロ用、EZ380B）をもちいて金属分の残存状況を測定した。反応があったものを3段階に分けて表記した。

0…全く反応しないもの

1…かすかに反応するもの

2…確実に反応するもの

ただし、金属反応では資料の表面に付着する錆などがある場合はほとんど反応しないし、ここでのいう3段階区分には明瞭な科学的な基準がない。

h 発泡

資料中の気泡の痕跡が存在するものに○を記載した。鉄滓のここでのいうmガラス質部分によく見られる。内部にあるガス分が抜け出た痕跡である。

i 小石粒

資料中に炉材とは異なる小石粒を包含するものに○を記載した。椀型滓の上面・下面に付着するものがあり、今回確認した中では、チャートの0.5cm～1.0cmのものがあつた。

j 植物残痕

資料中に植物繊維状の圧痕等が残存するものに○を記載した。椀型滓の上面や再結合滓などに付着している。

k 木炭

資料中に木炭を包含するものに○を記載した。

l 炉材

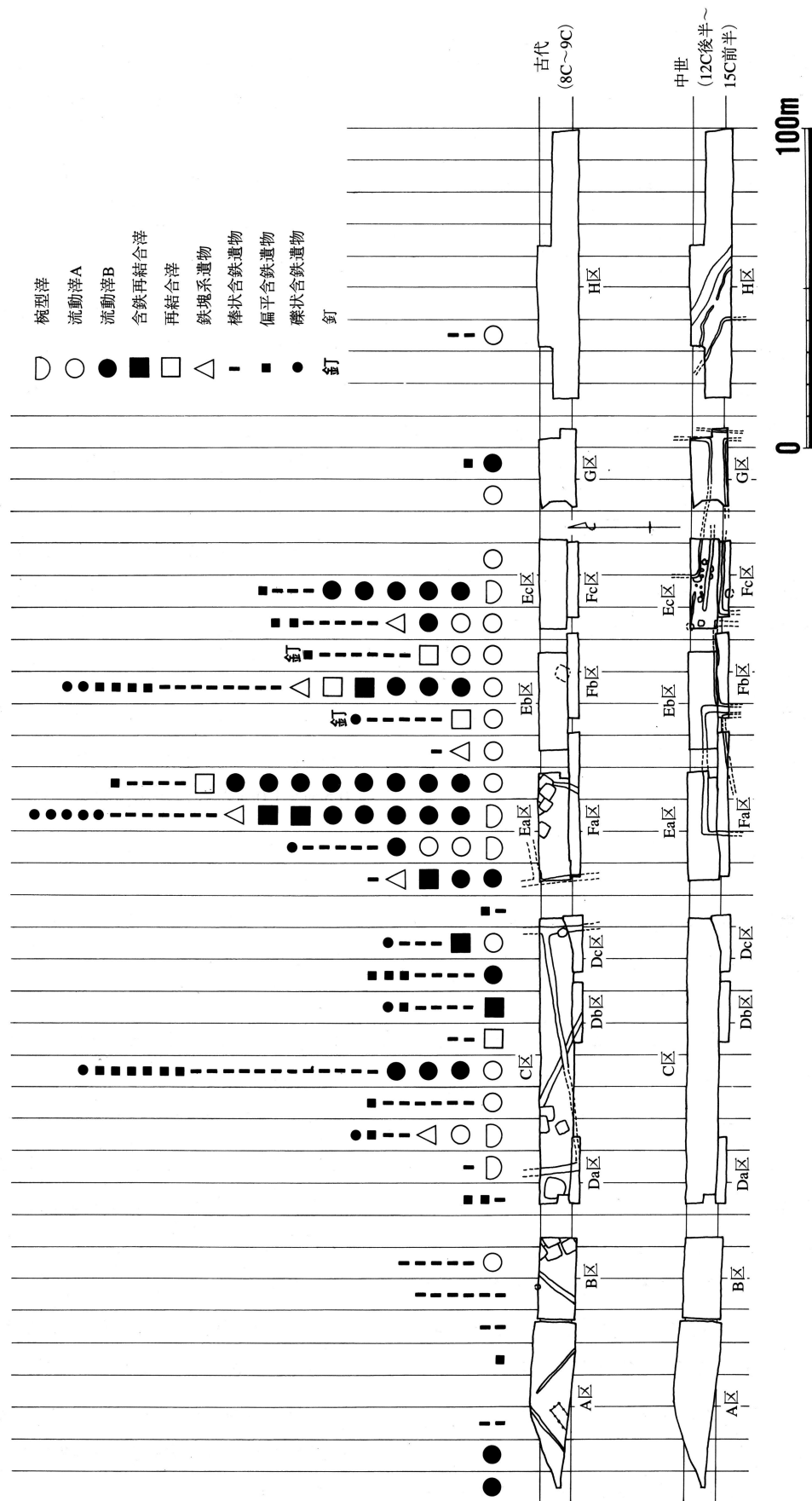
資料表面に炉材の一部と思われる粘土・石材が付着するものに○を記載した。椀型滓の下面や流動滓の一部に付着しているものがあつた。

m ガラス質

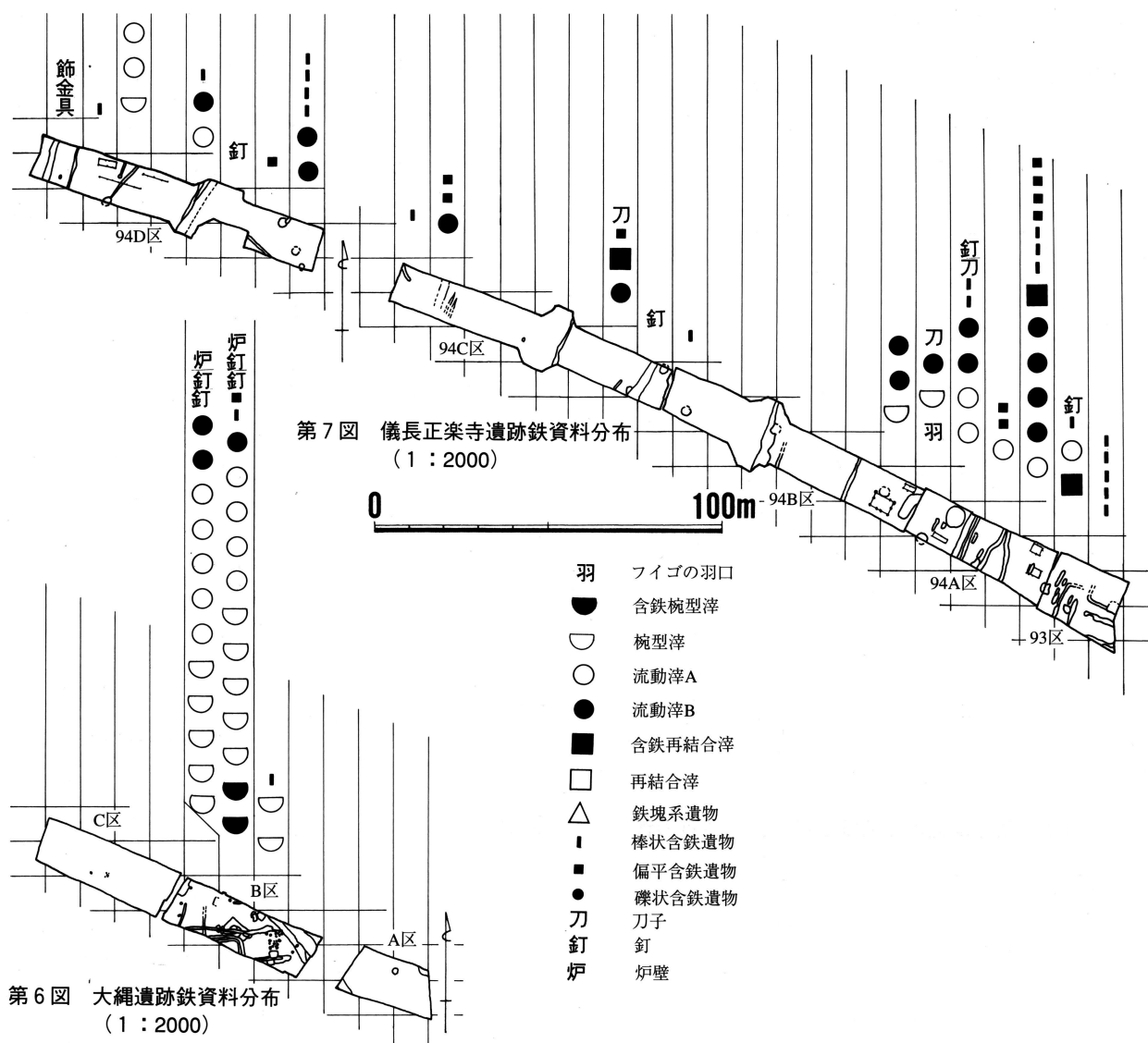
資料中にスラグ状の部分を含むものをその重みと表面観察から3段階に分けて表記した。

0…ガラス質がないもの、不明瞭なもの

1…ガラス質を包含し、そのガラス質が重く、色調が黒色から黒褐色で、比較的気泡が小さく少ないもの



第5図 堀之内花ノ木遺跡鉄資料分布 (1:2000)



2…ガラス質を包含し、そのガラス質が軽く、色調が灰色がかった黒色から暗灰色で、比較的気泡が大きく多いもの

n 備考

資料表面の付着物・固着（粘土等と共に水酸化鉄が固着した現象を指す）の有無等の特記事項を記載した。

(2) 各遺跡の鉄資料の傾向

前節で行った観察をもとに各遺跡の鉄資料の出土傾向の分析を行う。そこで各遺跡の調査区を東西10mごとに区切って鉄資料の分布を示したのが

第5図～第7図である。

①稲沢市堀之内花ノ木遺跡出土鉄資料（第2図・第5図）

出土した鉄資料の分布のピークが大きくC区中央部を中心とする地点とE a区からE c区を中心とする地点の2つに分かれる。C区を中心とする西の地点は、報告書において鍛冶の想定がなされているものである。また今回の検討によりもう一つの東側の分布が確認され、この地点はE a区とE b区の境界部分にある未調査地を挟んでさらに微妙に東西2つの分布のピークがあるようであ

る。それぞれの分布のピークは、椀型滓、流動滓A、流動滓B、含鉄再結合滓、再結合滓、鉄塊系遺物、各形状の含鉄遺物がほぼ重なる形で分布していることが分かる。椀型滓や流動滓などの鉄滓は比較的まとまって分布するのに対して、再結合滓や含鉄遺物は鉄滓に比べてやや拡散して分布している点に特徴がある。

C区中央部を中心に分布する一群は、SD13出土鉄資料の年代から、8世紀後半の段階に営まれた痕跡が反映したものと思われる。同様にEa区を中心に分布する一群は、竪穴住居から鉄資料が出土していることから9世紀に、Eb区からEc区を中心に分布する一群は、周辺に古代の遺構が稀で、出土した鉄資料は中世以後の遺構から出土していることから、鎌倉時代～室町時代に営まれた痕跡が反映されたものと考えられる。

②稲沢市大縄遺跡出土鉄資料（第3図・第6図）

本遺跡の鉄滓は他の2遺跡と違い、全27点の鉄滓の中で椀型滓が14点を占め、他に流動滓A9点、流動滓B3点、含鉄遺物3点、釘4点、炉壁2点がある。一部耕作による攪乱が及んでいたが、鉄資料はほぼ限られた範囲で分布している。椀型滓の中で金属反応を残す鉄分のある含鉄椀型滓が2点あり、鉄滓の種別の偏り（椀型滓が多い）と併せて注目される。この一群の鉄資料の時期は、13世紀前半に想定される土坑SK46から流動滓Aが出土していること、本遺跡のほとんどの遺構が12世紀後半～15世紀前半のものと考えられること、出土遺物の中心も12世紀中葉～13世紀前半にあることから、相対的に12世紀中葉～13世紀前半のものと考えられる。

③稲沢市儀長正楽寺遺跡出土鉄資料（第4図・第7図）

鉄資料の分布のピークが東側の93区から94A

区・94B区の東半分の部分と西側の94D区の大きく2つある。東側の分布では、94A区中央にある2条の溝SD07・SD08を挟んで93区から94A区東側と94A区西側の2つの分布のピークが存在する。また94D区の分布は、やや94D区西側に分布の中心があるが分散している。鉄滓の種別では東側の94A区西側の一群で椀型滓2点、流動滓A2点、流動滓B5点などの鉄滓とともに鑄の羽口片が1点（第4図10）出土しており、注目される。含鉄遺物の分布は鉄滓の分布と基本的に重複する。堀之内花ノ木遺跡と同様な種別構成である。

これらの鉄資料の時期は、古代の遺物・遺構も存在するが、遺跡の主体は12世紀後葉～14世紀前半にあり、遺構から出土している鉄資料のほとんどがこの時期に想定されているものに限られるので、遺構の変遷と併せて考えると、東側の93区から94A区東側の一群が12世紀後葉～13世紀中葉、94A区西側の一群が13世紀中葉～13世紀後葉、西側の94D区の一団が13世紀中葉～14世紀前半と考えられる。

4. まとめ（鉄資料分析の可能性と今後の課題）

前章で各遺跡における鉄資料の種別の分布とその時期について検討を加えた。先述したようにこれらの鉄資料は包含層からの出土や中・近世の大型遺構からの出土が多い。当然のことであるが、鉄資料の出土が多い所には、当時の生活に伴う土器等の遺物も多く、鍛冶遺構の検出されていない現状では、生活の消費に伴う廃棄が反映している可能性も高い。従って鉄資料の遺構出土もその時期の下限を示すに過ぎず、鉄資料の生成された時期決定も遺構変遷の相対的に大きいピークに合わせているのが現状で、その他の生活の遺構との細かい共存関係は検討できていない。

しかし、今回の分類・表現できた鉄資料の種別による分布から各遺跡で鍛冶が行われた可能性は

高く、考古学的には当時の鍛冶場（工房）の特定がある程度想定できていると考える方が建設的である。

ところで、鉄資料の種別の組み合わせには、堀之内花ノ木遺跡・儀長正楽寺遺跡と大縄遺跡の鉄資料で大きな違いがある。椀型滓が多く含鉄遺物の少ない大縄遺跡と椀型滓が少なく含鉄遺物の多い堀之内花ノ木遺跡・儀長正楽寺遺跡とに分かれ、後者の2遺跡では前者に比べて流動滓Bの出土が多い点も特徴である。

この違いは何を意味するのであろうか？自然化学的分析を行った堀之内花ノ木遺跡の報告では大鍛冶と小鍛冶の両方を行った鍛冶滓（分析資料9）が測定されており、また室遺跡においても同様な結果が出されている⁽¹⁰⁾。この2遺跡では鉄の精錬と鉄器加工の両方が同じ場所で連続して行われていた可能性が高く、従来言われている様な大鍛冶・小鍛冶という工程の区別は不明瞭なものなのかも知れない。しかし、隣接する遺跡の間で鉄滓類の違いだけでなく、鉄器加工に伴うと考えられる鉄製品やその廃棄物や素材と思われる含鉄遺物の量が対応して異なるのは、これらの出土地点が重なる以上、これら鉄資料の間には何らかの有機的関連があり、遺跡によって異なる鉄加工の工程が行われた可能性があるのではないだろうか。以上のように考えるならば、大縄遺跡では鉄の精錬を主体とする鍛冶工程が、堀之内花ノ木遺跡・儀長正楽寺遺跡では、鉄器加工を主体とする鍛冶工程が営まれたことを想定したい。

鉄資料の分布形態においては中世の堀之内花ノ木遺跡の一群、遺構との関係が不明瞭な大縄遺跡の一群の分布を除くと古代においては溝により区画された内部にある堅穴住居群を中心に、中世においても溝により区画された井戸等の生活遺構の多い区画内側に出土が多く、これらでは屋敷などの一角において鍛冶が行われた可能性が高い。

以上、今回の検討で鉄器生産に関する1、2の問題と可能性について指摘することができた。今後も鉄資料の分類自体の問題を含めて検討していかなければならないが、当面はより多くの類例を集め、典型的な鉄資料のタイプを模索していくことが、愛知県下の古代・中世における鉄器生産研究の課題と思われる。また並行して考古学的成果に基づいた鉄資料の構造・成分分析を行っていく必要があると思われる。

最後に今回の分析をする際に、（財）千葉県文化財センター小林信一氏・横山仁氏、（財）茨城県教育財団川井正一氏、石岡市教育委員会安藤敏孝氏には鉄資料の分析方法を御教示いただいた。資料の実見・文献調査にあたっては、稲沢市教育委員会北條献示氏・日野幸治氏、一宮市博物館岩野見司氏・久保禎子氏には大変お世話になった。また蟹江吉弘氏・赤塚次郎氏・池本正明氏・服部俊之氏には調査時の状況など御教示いただいた。記して感謝の意としたい。

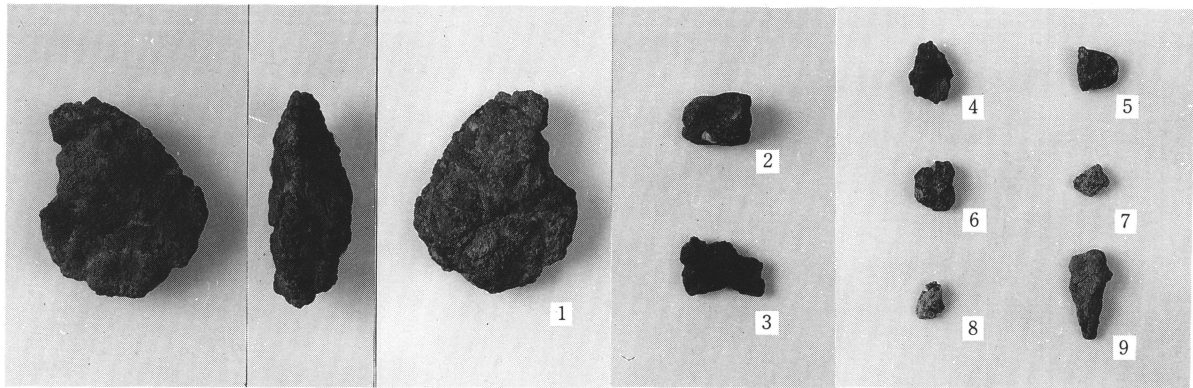
本稿は鈴木と蔭山が協議の上、蔭山が執筆した。なお第2表・第3表の堀之内花ノ木遺跡の自然科学的分析資料（1～35）は、分析成果を参考に蔭山が写真から種別・大きさなどを判別しており、分析結果とは必ずしも対応していない。分析の資料番号を備考に記載した。報告書と合わせて参照されたい。

（1）愛知県下の事例としては、一宮市清郷遺跡で鍛冶炉跡が確認されている程度である。

一宮市「清郷遺跡」『新編一宮市史』1974

（2）川井啓介・服部俊之編『室遺跡』（財）愛知県埋蔵文化財センター 1994

蟹江吉弘編『堀之内花ノ木遺跡』（財）愛知県



大縄遺跡出土鉄資料（約1：4）

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 2分の1分割碗型滓 | 4・7・8. 流動滓B（礫状） |
| 2. 流動滓A（礫状） | 5・6. 流動滓A（礫状） |
| 3. 流動滓A（偏平） | 9. 棒状含鉄遺物 |

埋蔵文化財センター 1994

鈴木正貴編『清洲城下町遺V』（財）愛知県埋蔵文化財センター 1995

名古屋市見晴台考古資料館『名古屋城三の丸遺跡第6・7次発掘調査報告書』1995

（3）財団法人総合鋳物センター刊『東海鋳物史稿』1964では、尾張北西部の中世の鋳物師（鉄）を探索する上で、清郷遺跡の他周辺の地域から出土した鉄資料や木曾川水系で採集できるとされる砂鉄との関連などを文献調査・化学分析を含めて追究されている。

（4）雄山閣『季刊考古学』第57号 1996

（5）その他に、

窪田蔵朗『改訂鉄の考古学』雄山閣 1987

同『製鉄遺跡』ニューサイエンス社 1983

藤尾慎一郎編『国立歴史民俗博物館研究報告』第58集 国立歴史民俗博物館 1994

雄山閣『季刊考古学』第8号 1984

穴澤義功「製鉄遺跡から見た古代・中世の鉄生産」奈良国立文化財研究所平成6年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修「製鉄遺跡調査過程」資料1994

川井正一編『鹿の子C遺跡』上下（財）茨城県教育財団 1983

阿久津久「国衙工房に見る鉄器生産について—鹿の子C遺跡を中心として—」『茨城県立歴史館報』17 茨城県立歴史館 1990

を主に参考にした。鉄生産に関わる文献はその他にも枚挙にいとまがない。

（6）蟹江吉弘編『堀之内花ノ木遺跡』（財）愛知県埋蔵文化財センター 1994

（7）水谷寛明・蔭山誠一「大縄遺跡」『平成7年度年報』（財）愛知県埋蔵文化財センター 1996

（8）池本正明編『儀長正楽寺遺跡』（財）愛知県埋蔵文化財センター 1996

（9）鈴木正貴「金属滓分析」『清須城下町遺跡V』（財）愛知県埋蔵文化財センター 1995

（10）川崎テクノリサーチ株式会社・服部俊之「鉄滓類の分析」『堀之内花ノ木遺跡』（財）愛知県埋蔵文化財センター 1994

川崎テクノリサーチ株式会社「室遺跡および関連遺跡出土鉄滓の分析」『室遺跡』（財）愛知県埋蔵文化財センター 1994

番号	調査区	グリッド	遺構(報告前)	保存番号	種別	形状	重量	長さ	短径	厚さ	着目	メタル	残存	発泡	小石	植物	木炭	石材	ガラス	備考	遺構	時期	
1	93	VI J 6 q	SK53	M1	流動層A	礫状	4	1.7	1.4	0.7	2	0	欠	○						1	土砂付着		
2	93	VI J 4 r	SK64	M2	流動層A	礫状	1	1.3	1	0.4	1	0	欠	○						1		SD03	13C前
3	93	VI A 8 b	SD04	M3	合鉄遺物	礫状	3	1.8	1.2	1	2	0	欠							0			
4	93	IV A 9 b	検I	M4	合鉄遺物	礫状	4	3.4	0.7	0.6	2	0	欠						0				
5	93	VI J 6 r	検I	M5	B	礫状	18	3.1	2.5	1.7	2	0	欠	○					0				
6	93	VI J 4 r	SK66	94-3769	合鉄遺物	礫状	24	12.1	1	1	3	0	欠						0				
7	93	VI J 7 s	覆乱	94-3779	合鉄再結合層	偏平	31	3.6	3.4	1.7	1	2	欠						2	バラバラになっている			
8	93	VI J 7 r	検I	94-3774	合鉄再結合層	礫状	15	3.1	2	1.5	2	0	欠	○					2				
9	93	VI J 7 r	検I	94-3777	合鉄遺物	偏平	4	3.1	1	0.5	2	2	欠						0				
10	93	VI J 7 r	検I	94-3778	合鉄遺物	礫状	2	2.2	0.8	0.5	2	0	欠						0				
11	93	IV A 6 a	検I	94-3770	合鉄遺物	礫状	4	3.6	1.1	0.5	2	0	欠						0				
12	93	VI J 7 s	覆乱	94-3773	合鉄遺物	礫状	13	4.8	1	1	4	2	欠						0		断面方形		
13	93	VI J 7 q	覆乱	94-3768	合鉄遺物	礫状	5	4.5	0.8	0.8	3	2	欠						0				
14	93	IV A 5 a	検I	94-3772	合鉄遺物	礫状	3	3.9	0.9	0.7	1	0	欠						0				
15	93	VI J 7 r	検I	94-3775	合鉄遺物	礫状	6	4.9	0.8	0.6	4	0	欠						0		0 釘		
16	93	IV A 5 a	検I	94-3771	合鉄遺物	礫状	3	3	0.7	0.7	2	0	欠						0				
17	94	IV I 3 r	SK12	95-817	流動層B	礫状	3	2.3	1.5	0.9	1	0	欠	○					2				
18	94	IV I 3 r	SK12	95-817	流動層B	礫状	1	1.2	0.8	0.5	1	0	欠	○					2				
19	94	IV I 6 r	SK22	95-818	流動層B	礫状	9	2.6	1.7	1	1	0	欠	○					2		土砂付着	SB04	12C後
20	94	IV I 3 m	SK104	95-820	B	凹凸	10	3	2.6	1.6	1	0	欠	○				○			2 白色付着物		
21	94	IV I 3 k	SK168	95-821	B	礫状	3	2.8	1.2	1.5	1	0	欠	○				○			2	SE02	13C中
22	94	IV I 4 p	SK228	95-822	合鉄流動層	偏平	20	3.9	2.1	1.2	3	0	欠						0				
23	94	IV I 4 p	SD01	95-824	流動層A	礫状	7	2.5	1.8	1.2	2	0	欠						0				
24	94	IV I 1 n	SD04	95-826	B	礫状	20	3.7	2.7	2.6	1	0	欠	○					2		緑色付着物	SD07	12C前
25	94	IV I 1 m	SD01	95-830	A	偏平	27	3.7	2.6	2	2	0	欠						1		12分制陶器	SE01	13C中～14C前
26	94	IV I 2 j	トナ	95-832	検型層	偏平	115	7.3	4.1	2.9	2	0	欠	○					1		12分制陶器		
27	94	IV I 2 k	検出	95-834	検型層	偏平	32	3.8	3.5	1.3	2	0	欠	○					1		14分制陶器		
28	94	IV I 2 k	検出	95-835	70°羽口	偏平	13	2.7	2.4	1.3	1	0	欠	○					2		先端部		
29	94	IV I 3 m	検出	95-836	A	偏平	2	1.5	1.2	0.6	1	0	欠						1				
30	94	SDX01No13		95-827	鉄製品	刀子	59	18.6	1.5	1.1	2	0	欠						1		表面にガラス状のもの付着	SE01	13C中～14C前
31	94	IV I 2 k	検I	95-833	合鉄遺物	偏平	18	6.3	2.1	1.3	2	0	欠						1				
32	94	IV I 6 q	トナ	95-831	合鉄遺物	偏平	10	4.6	1.3	0.7	2	0	欠						0				
33	94	IV I 5 q	SK61	95-823	合鉄遺物	偏平	3	1.8	1.2	0.4	2	0	欠						0			SB03	12C後～13C
34	94	IV I 5 q	SK55	95-819	合鉄遺物	偏平	6	4.7	1.2	0.7	4	2	欠						0		刀子状鉄片をかみ込む		
35	94	IV I 3 p	SD02	95-825	合鉄遺物	偏平	9	3.9	1.6	1.3	2	0	欠						0				
36	94	IV I 2 m	SD01	95-828	鉄製品	礫状	7	3.3	1	0.8	3	0	欠						0		0 釘	SD08	12C後～13C前
37	94	IV I 1 m	検I	95-837	合鉄遺物	礫状	5	2.2	1.4	1.2	2	0	欠						0			SE01	13C中～14C前
38	94	IV I 1 m	SD01	95-839	合鉄遺物	礫状	8	2.8	2.6	1.3	0	0	欠						0			SE01	13C中～14C前
39	94	III I 15 q	SK111	95-839	合鉄遺物	礫状	23	10.8	1.4	1.3	2	2	欠						0			SE04	13C中
40	94	IV I 1 j	SK07	95-838	流動層B	偏平	15	3.6	2.8	1.7	1	0	欠	○					2			SK28	中世
41	94	IV I 1 j	SK138	95-840	流動層A	礫状	17	3.2	1.9	2	1	0	欠	○					1				
42	94	SD07	SD07	95-848	合鉄遺物	偏平	2	3.2	0.8	0.3	3	1	欠						○			SD40	近世
43	94	III H 11 k	SK48	95-841	流動層B	礫状	1	1.9	1	0.5	1	0	欠	○					2		紫色付着物		
44	94	III H 10 d	SD07上面	95-847	流動層B	礫状	4	2.2	1.2	1	1	0	欠	○					0		板状鉄片を2枚から込む		
45	94	III H 13 i	SD14	95-850	合鉄再結合層	偏平	11	3.9	3	1.2	2	0	欠						0			SD36	近世
46	94	III H 13 i	SD14	95-851	鉄製品	刀子	24	7.2	1.7	0.6	2	0	欠						0			SD36	近世
47	94	III H 13 i	SD14	95-849	合鉄遺物	偏平	2	2.3	1.3	0.5	1	0	欠						0			SD36	近世
48	94	III H 13 i	SD06	95-846	合鉄遺物	偏平	2	1.7	1	0.4	3	0	欠						0			SD39	近世
49	94	III H 8 b	SD06	95-845	合鉄遺物	礫状	11	5.3	1.5	1	2	0	欠						0			SD39	近世
50	94	III H 8 b	SD04	95-844	合鉄遺物	礫状	3	3.3	0.8	1.2	2	0	欠						0		0 釘	SD14	13C中～14C前
51	94	II F 20 t	検出	95-859	鉄製品	金具	25	5.3	3	3	3	2	欠						0				
52	94	III G 5 h	トナ	95-858	鉄製品	礫状	20	6.8	0.8	0.7	4	2	欠						0		0 釘		
53	94	III G 4 n	検出	95-861	合鉄遺物	礫状	1	1.9	0.5	0.5	2	0	欠						0				
54	94	III G 1 c	検出	95-860	合鉄遺物	礫状	4	2.8	0.8	1	2	2	欠						0				
55	94	III G 6 n	SK48枠内上	95-854	合鉄遺物	礫状	1	1.9	0.8	0.6	1	0	欠						0			SE08	13C中
56	94			95-862	合鉄遺物	礫状	8	3.5	1.6	1.5	1	0	欠						0				
57	94			95-863	合鉄遺物	礫状	6	5.3	1.2	1	1	0	欠						0				
58	94	III G 7 n	SK47	95-853	流動層B	礫状	6	2.6	1.6	0.9	3	0	欠						2			SE09	中世
59	94	III G 7 n	SK47	95-853	流動層B	礫状	2	2	1.2	0.7	0	0	欠						2			SE09	中世
60	94	III G 2 d	SK37	95-855	検型層	礫状	97	5.7	5.2	2.4	3	0	欠	○							14分制陶器		
61	94	III G 2 d	SK37	95-855	流動層A	礫状	4	1.9	1.2	1.1	1	0	欠	○					1				
62	94	III G 2 d	SK37	95-855	流動層A	礫状	4	1.4	1.2	1.4	1	0	欠	○					1				
63	94	III G 3 i	SD03	95-856	流動層A	偏平	66	4.1	3.4	1.9	3	0	欠	○					2		紫色付着物	SD41	近世
64	94	III G 3 i	SD03	95-856	流動層B	礫状	4	1.8	1.2	1.1	1	0	欠	○					2			SD41	近世
65	94	III G 4 h	SD03	95-857	合鉄遺物	礫状	2	7.4	0.2	0.2	3	0	欠						0				

第1表 銀正系古遺跡出土鉄資料一覧

番号	調査区	グリッド	遺構(報告前)	保存番号	類別	形状	重量	長さ	短径	厚さ	着透度	メタル	残存	発泡	小石	植物	木炭	灰材	ガラス	備考	遺構	時期
1 99B	VA 6 t	線 I	SK46	96-72	鉄製品	棒状	5	4.4	0.5	0.5	2	0	欠						0 釘			
2 99B	VA 6 t	線 I		96-73	鉄製品	棒状	3	4.4	0.6	0.5	2	0	欠						0 釘			
3 99B	VB 8 a	線 I		96-71	合鉄遺物	棒状	3	4.1	0.6	0.6	2	0	欠						0			
4 99B	VA 4 s	線 I		96-74	鉄製品	棒状	6	4.2	2.5	0.6	3	2	欠						0 釘			
5 99B	VA 4 s	線 I		96-75	鉄製品	棒状	2	5.8	0.3	0.3	3	2	欠						0 釘			
6 99B	VA 8 s	線 I		96-403	合鉄遺物	棒状	66	4.9	4.7	2.2	3	0	欠						0 釘			
7 99B	VA 5 s	線 I		96-402	合鉄遺物	棒状	16	4.7	2	1.3	2	0	欠						0			
8 99B	SK46	線 I		96-401	流動洋 A	扁平	26	4.5	2.9	1.2	5	0	欠						0			13C前
9 99B	VA 5 s	線 I		96-404	流動洋 A	扁平	93	4.3	4.3	2.1	2	0	欠						0			
10 99B	VA 5 s	線 I		96-405	流動洋 A	扁平	36	4.1	3.7	1.7	2	0	欠						0			
11 99B	VA 5 s	線 I		96-406	A	棒状	41	3.5	3	2.1	1	0	欠						0			
12 99B	VA 5 t	線 I		96-407	流動洋 B	棒状	50	3.4	3	2.3	2	0	欠						0			
13 99B	VA 5 t	線 I		96-408	流動洋 B	棒状	14	3.1	2.3	1.5	2	0	欠						0			
14 99B	VA 5 s	線 I		96-409	流動洋	棒状	350	10.4	8.3	3.5	2	0	欠						0			
15 99B	VA 5 s	線 I		96-410	流動洋	棒状	35	4.1	3.2	1.7	2	0	欠						0			
16 99B	VA 4 s	線 I		96-411	流動洋	棒状	59	5.1	2.5	1.8	2	0	欠						0			
17 99B	VA 4 s	線 I		96-412	流動洋 B	棒状	45	5.5	4.7	2.1	2	0	欠						0			
18 99B	VA 4 s	線 I		96-413	流動洋 B	棒状	24	2.7	2.3	1.9	1	0	欠						0			
19 99B	VA 4 s	線 I		96-414	流動洋 B	棒状	81	6.5	4.3	2.3	2	0	欠						0			
20 99B	VA 4 s	線 I		96-415	流動洋 A	棒状	12	2.2	2.1	1.5	1	0	欠						0			
21 99B	VA 4 s	線 I		96-416	流動洋 A	棒状	38	5.4	3.3	1.2	2	0	欠						0			
22 99B	VA 4 s	線 I		96-417	流動洋 A	棒状	17	4.3	3	1.5	0	0	欠						0			
23 99B	VB 6 a	線 I		96-418	合鉄遺物	棒状	87	5.8	4.5	2	3	0	欠						0			
24 99B	VB 6 a	線 I		96-419	合鉄遺物	棒状	125	5.6	4.6	2.7	4	0	欠						0			
25 99B	VA 4 s	線 I		96-420	合鉄遺物	棒状	300	8.4	6.5	3.9	3	2	欠						0			
26 99B	VA 4 s	線 I		96-421	合鉄遺物	棒状	212	6	5.6	2.6	3	2	欠						0			
27 99B	VA 4 s	線 I		96-422	合鉄遺物	棒状	100	5.3	5.3	2.1	1	0	欠						0			
28 99B	VA 4 s	線 I		96-423	合鉄遺物	棒状	59	4.7	3.7	1.7	3	0	欠						0			
29 99B	VA 5 s	線 I		96-424	流動洋 A	棒状	27	4.5	2.4	1.3	1	0	欠						0			
30 99B	VA 5 s	線 I		96-425	流動洋 A	棒状	3	1.6	1.1	0.9	1	0	欠						0			
31 99B	VA 5 s	線 I		96-426	流動洋 A	棒状	2	1.1	1.1	1.1	2	0	欠						0			
32 99B	VA 5 s	線 I		96-427	流動洋 A	棒状	15	2.5	2	1.5	1	0	欠						0			
33 99B	VA 4 s	線 I		96-428	流動洋 A	棒状	2	2.4	1.4	1	1	0	欠						0			
34 99B	VA 4 s	線 I		96-429	流動洋 A	棒状	4	2.3	1.3	0.7	2	0	欠						0			
35 99B	VA 4 s	線 I		96-430	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
36 99B	VA 4 s	線 I		96-431	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
37 99B	VA 4 s	線 I		96-432	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
38 99B	VA 4 s	線 I		96-433	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
39 99B	VA 4 s	線 I		96-434	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
40 99B	VA 4 s	線 I		96-435	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
41 99B	VA 4 s	線 I		96-436	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
42 99B	VA 4 s	線 I		96-437	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
43 99B	VA 4 s	線 I		96-438	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
44 99B	VA 4 s	線 I		96-439	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
45 99B	VA 4 s	線 I		96-440	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
46 99B	VA 4 s	線 I		96-441	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
47 99B	VA 4 s	線 I		96-442	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
48 99B	VA 4 s	線 I		96-443	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
49 99B	VA 4 s	線 I		96-444	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
50 99B	VA 4 s	線 I		96-445	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
51 99B	VA 4 s	線 I		96-446	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
52 99B	VA 4 s	線 I		96-447	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
53 99B	VA 4 s	線 I		96-448	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
54 99B	VA 4 s	線 I		96-449	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
55 99B	VA 4 s	線 I		96-450	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
56 99B	VA 4 s	線 I		96-451	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
57 99B	VA 4 s	線 I		96-452	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
58 99B	VA 4 s	線 I		96-453	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
59 99B	VA 4 s	線 I		96-454	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
60 99B	VA 4 s	線 I		96-455	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
61 99B	VA 4 s	線 I		96-456	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
62 99B	VA 4 s	線 I		96-457	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
63 99B	VA 4 s	線 I		96-458	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
64 99B	VA 4 s	線 I		96-459	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
65 99B	VA 4 s	線 I		96-460	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
66 99B	VA 4 s	線 I		96-461	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
67 99B	VA 4 s	線 I		96-462	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
68 99B	VA 4 s	線 I		96-463	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
69 99B	VA 4 s	線 I		96-464	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
70 99B	VA 4 s	線 I		96-465	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
71 99B	VA 4 s	線 I		96-466	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
72 99B	VA 4 s	線 I		96-467	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
73 99B	VA 4 s	線 I		96-468	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
74 99B	VA 4 s	線 I		96-469	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
75 99B	VA 4 s	線 I		96-470	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
76 99B	VA 4 s	線 I		96-471	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
77 99B	VA 4 s	線 I		96-472	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
78 99B	VA 4 s	線 I		96-473	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
79 99B	VA 4 s	線 I		96-474	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
80 99B	VA 4 s	線 I		96-475	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
81 99B	VA 4 s	線 I		96-476	流動洋 A	棒状	1	1.4	1.1	0.5	1	0	欠						0			
82 99B	VA 4 s	線 I		96-477	流動洋 A	棒状	1	1.4														

番号	調査区	グリッド	遺構(報告前)	保存番号	種別	形状	重量	長さ	厚さ	着磁度	メタル	残存	発泡	小石	植物	木炭	炉材	ガラス	備考	遺構	時期
31	91B	SD40			含鉄遺物	破片	39	32	2.8		0	完						0	分析番号26	SD40	近世
32	91E	V F15 g h			含鉄遺物	破片	14	2	1.7		0	完						0	分析番号27		
33	91E				流動層A	偏平	19	2.8	2.1	中	0	完						0	分析番号28		
34	91B	V F15.16 d			流動層B	破片	22	2.8	2.4	一部強	0	完						2	分析番号29		
35	91B	V F16 d			流動層B	破片	22	2.8	2.6	一部中	0	完						2	分析番号30		
36	91A	SD4		95-157	流動層B	破片	2	1.7	1.1	0.9	1	0	欠					2		SD4	
37	91A	SD4		95-232	流動層B	偏平	18	4.1	2.1	1.3	1	0	欠					2		SD4	
38	91A	北1ヶ		95-219	鉄製品	破片	31	4.1	2.3	0.8	3	2	欠					0		SD4	
39	91A	VA14.15 a		95-186	含鉄遺物	偏平	2	2	1.1	0.5	2	0	欠					0			
40	91A	VC14.15 r		95-318	含鉄遺物	破片	3	4.8	0.8	0.7	2	2	完					0			
41	91A	VC14.15 r		95-319	含鉄遺物	破片	3	2.9	0.7	0.6	1	0	欠					0			
42	91A	表土		95-284	含鉄遺物	破片	4	3.4	0.8	0.6	2	0	欠					0			
43	91A	表土		95-154	含鉄遺物	破片	4	3	1.2	1.1	2	0	欠					0			
44	91B	VD15 e		95-305	流動層B	破片	6	2.6	1.5	1.2	1	0	完					2			
45	91B	SB08		95-301	流動層A	破片	5	1.9	1.4	1.4	1	0	完					0			
46	91B	SB08		95-302	含鉄遺物	破片	6	3.5	1.3	1	2	0	欠					0			
47	91B	SD03		95-240	含鉄遺物	破片	10	3.3	1	0.9	2	0	欠					0			
48	91B	VD16 e		95-250	含鉄遺物	破片	11	5.4	1.2	1.1	1	0	欠					0			
49	91B	VD15 f		95-236	含鉄遺物	破片	28	6	2.7	1.9	3	2	欠					0			
50	91B	VD15 f		95-313	含鉄遺物	破片	2	2.1	0.9	0.9	0	0	欠					0			
51	91B	VD14.15 e		95-234	含鉄遺物	破片	3	3.6	0.6	0.5	1	2	欠					0			
52	91B	VD15 d		95-256	含鉄遺物	破片	4	2.5	1.2	1.1	2	0	欠					0			
53	91B	VD16 g		95-325	含鉄遺物	破片	12	4.8	1.8	1.4	1	0	欠					0			
54	91B	VD16 g		95-326	含鉄遺物	破片	3	2.6	0.7	0.6	1	0	欠					0			
55	91B	VD16 h		95-328	含鉄遺物	破片	5	4	0.9	0.6	2	0	完					0			
56	91B	VD16 h		95-329	含鉄遺物	破片	7	4.5	1.3	0.9	2	0	完					0			
57	91B	VD15 d		95-257	含鉄遺物	破片	3	2.3	1.2	0.9	1	0	欠					0			
58	91B	表土		95-296	含鉄遺物	破片	8	3.5	1.4	1.3	1	0	欠					0			
59	91B	表土		95-289	含鉄遺物	破片	5	5.1	0.9	0.8	2	2	完					0			
60	91B	VD16 f		95-287	含鉄遺物	破片	2	1.2	1.2	1.2	2	0	欠					0			
61	91C	VE16 c		95-160	含鉄遺物	偏平	7	3	2.4	1.1	2	0	欠					0			
62	91C	破損部分		95-292	含鉄遺物	偏平	1	1.6	1.6	0.3	1	0	欠					0			
63	91C	破損部分		95-292	含鉄遺物	偏平	2	2.1	1	0.7	2	0	欠					0			
64	91C	破損部分		95-194	含鉄遺物	偏平	26	4.8	3.2	1	1	0	欠					0			
65	91C	SD14		95-291	再結合層	偏平	19	3	2.6	1.6	2	0	完				0				
66	91C	VE16 a		95-291	再結合層	破片	4	2.5	1.4	1	2	0	完				0				
67	91C	VE16 a		95-291	含鉄遺物	偏平	11	3	2	1.1	2	0	完				0				
68	91C	VE14.15 e		95-300	含鉄遺物	偏平	4	3	1.1	1	2	0	欠				0				
69	91C	VE14.15 e		95-300	含鉄遺物	偏平	18	4.3	2.4	1	2	0	欠				0				
70	91C	表土		95-247	流動層B	偏平	13	3.5	1.7	1.6	2	0	欠				0				
71	91C	VD16 p		95-306	鉄塊系遺物	破片	5	2.8	1.2	1.1	2	0	完				0				
72	91C	SB04		95-198	流動層A	破片	9	2.9	1.7	1.6	0	0	欠				0				
73	91C	SD14		95-310	流動層B	破片	3	1.3	1.3	0.9	2	0	欠				0				
74	91C	SD14		95-310	流動層B	破片	3	1.7	1.6	1	2	0	欠				0				
75	91C	SD14		95-293	含鉄遺物	偏平	12	2.9	2.2	1.1	2	0	欠				0				
76	91C	SD15上層		95-201	含鉄遺物	破片	2	1.6	1	0.9	2	0	欠				0				
77	91C	VE15 e		95-195	含鉄遺物	破片	4	1.9	1.2	1.1	1	0	完				0				
78	91C	VD15.1, m		95-246	流動層A	破片	4	2.4	1.2	1.2	1	0	欠				0				
79	91C	VD15 p		95-179	含鉄遺物	破片	4	1.9	1.6	1	1	0	欠				0				
80	91C	VE14.15 d		95-188	含鉄遺物	破片	4	1.9	1.6	1	1	0	欠				0				
81	91C	VD16 q		95-285	流動層A	破片	2	1.6	1.3	0.9	2	0	欠				0				
82	91C	VD16 s		95-274	含鉄遺物	破片	1	1.2	0.7	0.6	2	0	欠				0				
83	91C	VE14.15 g, h		95-216	流動層A	偏平	11	3.5	2.1	1	2	0	完				0				
84	91C	VE16 i		95-273	含鉄遺物	偏平	1	1	0.8	0.3	2	0	欠				0				
85	91C	SD14		95-235	含鉄遺物	偏平	6	2.3	2.1	0.5	2	0	欠				0				
86	91C	VE14.15 g, h		95-322	含鉄再結合層	偏平	4	3	2.4	0.2	1	0	欠				0				
87	91C	SK11		95-193	含鉄遺物	偏平	1	1.8	1.3	0.2	2	0	欠				0				
88	91C	SD14上層		95-327	含鉄遺物	破片	6	3.1	1.3	0.6	2	2	欠				0				
89	91C	VD16 l		95-243	含鉄遺物	偏平	9	3	2.9	0.5	2	0	欠				0				
90	91C	VE15 f		95-277	含鉄遺物	偏平	1	1.1	0.9	0.2	2	0	欠				0				
91	91C	VE14.15 f		95-215	含鉄遺物	偏平	4	2.3	2.1	0.5	2	0	欠				0				
92	91C	南壁		95-155	含鉄遺物	偏平	4	2.3	1.8	0.7	1	0	欠				0				
93	91C	SK11		95-270	含鉄遺物	破片	2	2.4	0.9	0.7	1	0	欠				0				
94	91C	SK45		95-227	含鉄遺物	破片	8	3.7	1.3	1	1	0	完				0				
95	91C	SD13		95-242	含鉄遺物	破片	8	4.1	1.3	1.1	1	0	完				0				
96	91C	VD16 q, r, SD14		95-307	含鉄遺物	破片	1	1.3	0.8	0.8	1	0	欠				0				

第3表 堀之内花ノ木遺跡遺跡出土鉄資料一覧(2)

番号	調査区	グランド	遺構(報告前)	保存番号	通別	形状	重量	長さ	短径	厚さ	着磁度	メタル	残存	発見	小石	植物	木炭	炉材	ガラス	備考	遺構	時期
97-91C	VD16q, r	SD14	95-308	含鉄遺物	棒状	20	1	2.3	0.5	1.6	3	2	欠	欠					0	断面方形	SD14	近世
98-91C	VD16q, r	SD14	95-308	含鉄遺物	棒状	5	2	2.1	0.9	0.7	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD14	近世
99-91C	VD16r	SD14	95-261	含鉄遺物	棒状	3	3	3.8	0.9	0.8	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD14	近世
100-91C	VD16r	SD14	95-197	含鉄遺物	棒状	2	2	2.4	1.5	0.5	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD14	近世
101-91C	VD16r	SD14	95-309	含鉄遺物	棒状	5	3	3.5	1.3	1.1	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD14	近世
102-91C	VD16a	SD14	95-276	含鉄遺物	棒状	4	5	5.5	0.4	0.3	2	2	完	完					0	断面方形	SD14	近世
103-91C	VD16r	SD14	95-262	含鉄遺物	棒状	3	2	2.6	0.8	0.7	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD14	近世
104-91C	VD16r	SD14下層	95-330	含鉄遺物	棒状	3	3	3.8	0.5	0.5	3	0	欠	欠					0	断面方形	SD14	近世
105-91C	VD16a	SD14下層	95-331	含鉄遺物	棒状	1	2	0.5	0.4	2	0	0	欠	欠					0	断面方形	SD14	近世
106-91C	VD15c	SD21	95-223	含鉄遺物	棒状	5	2	2.5	1	0.9	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD21	近世
107-91C	VD15c	SD30下層	95-315	含鉄遺物	棒状	2	2	2.7	0.8	0.7	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
108-91C	VD15f	SD30下層	95-275	含鉄遺物	棒状	1	1	1.7	0.8	0.5	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
109-91C	VD16c	検I	95-206	含鉄遺物	棒状	2	2	2.1	0.9	0.7	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
110-91C	VD15.16s	検I	95-161	含鉄遺物	棒状	3	2	2.1	0.9	0.7	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
111-91C	VD15.16s	検I	95-161	含鉄遺物	棒状	3	2	2.1	0.9	0.7	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
112-91C	VD16b	検I	95-180	含鉄遺物	棒状	4	2	2.4	0.9	0.8	3	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
113-91C	VD16h	検I	95-196	含鉄遺物	棒状	3	3	3.4	0.6	0.5	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
114-91C	VD14.15g,h	検I	95-321	含鉄遺物	棒状	1	1	1.1	0.9	0.6	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
115-91C	VD15q	検I	95-150	含鉄遺物	棒状	3	2	2.3	1	0.9	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
116-91C	VD16s, t	検I	95-289	含鉄遺物	棒状	10	4	4.9	1.5	1.2	3	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
117-91C	VD15q	検I	95-199	含鉄遺物	棒状	2	2	2	0.9	0.5	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
118-91C	VD14.15g,h	検I	95-320	含鉄遺物	棒状	9	5	5.1	1	0.9	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
119-91C	VD16p	検I	95-279	含鉄遺物	棒状	1	1	1.1	0.9	0.6	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
120-91C	VD16p	検I	95-175	含鉄遺物	棒状	4	2	2.4	1	1.1	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
121-91C	VD14.15b,c	検II	95-299	含鉄遺物	棒状	1	1	1.5	0.3	0.3	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
122-91C	VD14.15b,c	検II	95-298	含鉄遺物	棒状	8	5	5.1	1.1	0.9	2	2	完	完					0	断面方形	SD30	8C後~9C
123-91C	VD15c	検II	95-221	含鉄遺物	棒状	5	2	2.1	0.8	0.2	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
124-91Da	VD15c	検II	95-167	含鉄遺物	棒状	2	2	2.1	0.8	0.2	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
125-91Da	VD15c	検II	95-251	含鉄遺物	棒状	3	2	2.1	0.8	0.2	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
126-91Da	VD15c	検II	95-217	含鉄遺物	棒状	6	3	3.2	0.7	0.7	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
127-91Da	VD15c	検II	95-170	含鉄遺物	棒状	7	3	2.9	0.7	0.7	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
128-91Da	VD15c	検II	95-170	含鉄遺物	棒状	5	2	2.3	1.9	0.9	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
129-91Da	VD15c	検II	95-267	含鉄遺物	棒状	7	2	2.7	1.6	0.8	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
130-91Da	VD15c	検II	95-283	含鉄遺物	棒状	13	3	3.2	1	1.1	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
131-91Da	VD15c	検II	95-283	含鉄遺物	棒状	2	1	1.2	0.8	1	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
132-91Da	VD15c	検II	95-224	含鉄遺物	棒状	6	2	2.3	1.5	1.1	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
133-91Da	VD15m	検I	95-281	含鉄遺物	棒状	14	3	3.6	2.7	1.4	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
134-91Da	VD15.16l	検I	95-228	含鉄遺物	棒状	5	2	2.6	2.3	0.9	1	2	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
135-91Da	VD15.16l	検I	95-158	含鉄遺物	棒状	1	1	1.4	1.1	0.6	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
136-91Da	VD15.16l	検I	95-241	含鉄遺物	棒状	2	1	1.7	1.5	0.8	0	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
137-91Da	VD15.16l	検I	95-241	含鉄遺物	棒状	3	1	1.4	1	0.9	3	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
138-91Da	VD15.16l	検I	95-249	含鉄遺物	棒状	3	2	2	1.5	1	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
139-91Da	VD15.16l	検I	95-226	含鉄遺物	棒状	9	3	3.5	1.3	1.3	2	1	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
140-91Da	VD15.16l	検I	95-214	含鉄遺物	棒状	14	4	4	3.4	0.9	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
141-91Da	VD15.16l	検I	95-156	含鉄遺物	棒状	2	2	2.4	1.3	0.5	3	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
142-91Da	VD15.16l	検I	95-287	含鉄遺物	棒状	2	2	2.1	1.7	0.4	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
143-91Da	VD15.16l	検I	95-254	含鉄遺物	棒状	4	2	2.6	1.5	0.5	2	1	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
144-91Da	VD15.16l	検I	95-212	含鉄遺物	棒状	2	1	1.6	1.1	1	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
145-91Da	VD15.16l	検I	95-253	含鉄遺物	棒状	3	1	1.9	1.2	0.7	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
146-91Da	VD15.16l	検I	95-266	含鉄遺物	棒状	8	2	2.1	2	1.8	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
147-91Da	VD15.16l	検I	95-265	含鉄遺物	棒状	10	2	2.8	1.7	1.6	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
148-91Da	VD15.16l	検I	95-184	含鉄遺物	棒状	23	5	5.4	2.7	1.2	3	2	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
149-91Da	VD15.16l	検I	95-178	含鉄遺物	棒状	31	3	3.6	2.6	1.9	2	1	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
150-91Da	VD15.16l	検I	95-212	含鉄遺物	棒状	2	1	1.8	0.6	0.6	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
151-91Da	VD15.16l	検I	95-177	含鉄遺物	棒状	16	6	6.1	0.9	0.9	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
152-91Da	VD15.16l	検I	95-225	含鉄遺物	棒状	5	3	3.9	0.6	0.6	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
153-91Da	VD15.16l	検I	95-282	含鉄遺物	棒状	5	2	2.5	1.1	0.7	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
154-91Da	VD15.16l	検I	95-185	含鉄遺物	棒状	2	2	2.5	0.7	0.7	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
155-91Da	VD15.16l	検I	95-290	含鉄遺物	棒状	6	3	3.6	2.6	1.9	2	1	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
156-91Da	VD15.16l	検I	95-248	含鉄遺物	棒状	7	3	3.1	1	1	3	2	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
157-91Da	VD15.16l	検I	95-187	含鉄遺物	棒状	3	2	2.6	0.7	0.7	3	2	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
158-91Da	VD15.16l	検I	95-168	含鉄遺物	棒状	4	4	4.8	0.8	0.5	2	2	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
159-91Da	VD15.16l	検I	95-268	含鉄遺物	棒状	2	2	2.4	0.8	0.8	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
160-91Da	VD15.16l	検I	95-268	含鉄遺物	棒状	2	2	2.2	0.6	0.6	1	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
161-91Da	VD15.16l	検I	95-238	含鉄遺物	棒状	4	3	3.4	0.8	0.7	3	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C
162-91Da	VD15.16l	検I	95-237	含鉄遺物	棒状	3	2	2	0.9	0.9	2	0	欠	欠					0	断面方形	SD30	8C後~9C

第4表 堀之内花ノ木遺跡遺跡出土鉄資料一覧(3)

番号	調査区	グリッド	遺構(報告前)	保存番号	類別	形状	重量	長さ	短径	厚さ	着底深	メタル	残存	発泡	小石	植物	木炭	石材	ガラス	備考	遺構	時期	
163 91Ea	南土垣	検1	95-213	95-213	合鉄遺物	棒状	3	3	1	1	2	欠							0			SB05	9C
164 91Ea			95-204	95-204	合鉄遺物	棒状	4	3.5	0.7	0.7	2	0	欠						0			SD73	近世
165 91Eb		VF15.16d	95-203	95-203	合鉄再結合片	偏平	44	5.2	4.9	1.6	2	0	欠						0				
166 91Eb		VF15.16e	95-200	95-200	流動洋A	棒状	6	2.5	2.1	1	2	0	完						0				
167 91Eb		VF16d	95-295	95-295	鉄塊系遺物	棒状	5	1.8	1.5	0.7	3	2	完						0				
168 91Eb		VF16b, c	95-272	95-272	流動洋B	棒状	3	2	1.1	1	2	0	欠						0				
169 91Eb		VF16a	95-174	95-174	流動洋B	棒状	8	2.5	1.7	1.6	2	0	欠						0				
170 91Eb		VF15.16d	95-208	95-208	流動洋A	棒状	1	1.3	0.8	0.6	1	0	欠						0				
171 91Eb		SD59	95-209	95-209	流動洋A	棒状	5	2	1.7	1	2	0	完						0				
172 91Eb		VF15.16b	95-202	95-202	再結合片	棒状	5	2.8	1.3	0.9	2	0	完						0				
173 91Eb		VF16d	95-210	95-210	再結合片	棒状	8	3.8	1.4	1	2	0	完						0				
174 91Eb		VF15.16e	95-207	95-207	流動洋A	棒状	5	3.3	1.3	0.7	2	0	完						0				
175 91Eb		VF15.16e	95-152	95-152	再結合片	棒状	4	2.1	1.9	0.9	0	0	欠						0				
176 91Eb		VF15c	95-244	95-244	合鉄遺物	偏平	5	2.5	2	0.5	3	2	欠						0				
177 91Eb		VF16d	95-245	95-245	合鉄遺物	棒状	6	1.9	1.6	1.5	2	0	欠						0				
178 91Eb		VF15d	95-153	95-153	合鉄遺物	棒状	3	1.6	1.6	0.9	2	0	欠						0				
179 91Eb		VF16d	95-171	95-171	合鉄遺物	偏平	5	2.6	1.6	0.8	2	1	欠						0				
180 91Eb		VF16d	95-294	95-294	合鉄遺物	偏平	4	2.1	1.3	0.6	2	0	欠						0				
181 91Eb		VF16b, c	95-271	95-271	合鉄遺物	棒状	7	2.4	2	1	2	0	欠						0				
182 91Eb		VF15.16e	95-323	95-323	合鉄遺物	偏平	5	2.5	1.6	0.9	2	0	欠						0				
183 91Eb		VF16d	95-258	95-258	鉄製品	棒状	6	3.1	1.5	0.8	2	0	欠						0				
184 91Eb		VF15c	95-172	95-172	鉄製品	棒状	13	3.6	1.2	1	3	0	欠						0				
185 91Eb		VF16e	95-176	95-176	鉄製品	棒状	4	2.1	0.8	0.9	3	0	欠						0				
186 91Eb		VF16d	95-259	95-259	合鉄遺物	棒状	4	3.4	0.9	0.6	2	0	欠						0				
187 91Eb		VF15.16a	95-181	95-181	合鉄遺物	棒状	3	2.6	1	0.8	2	0	欠						0				
188 91Eb		VF16a	95-239	95-239	合鉄遺物	棒状	3	3.7	0.6	0.6	2	0	欠						0				
189 91Eb		SD58	95-252	95-252	合鉄遺物	棒状	3	2	1.2	0.8	2	0	欠						0				
190 91Eb		VF15.16e	95-230	95-230	合鉄遺物	棒状	15	7.4	1.3	1.1	1	0	完						0				
191 91Eb		VF15.16e	95-324	95-324	鉄製品	棒状	4	3	1.2	0.8	2	0	欠						0				
192 91Eb		VF15a, b	検1	95-260	鉄製品	棒状	4	4.4	0.6	0.6	2	0	完						0				
193 91Ec		VF15h	検出	95-231	流動洋B	凹凸	6	3.6	2.2	0.9	0	0	欠						0				
194 91Ec		VF15j	検出	95-200	流動洋B	棒状	5	2	1.1	1.3	2	0	欠						0				
195 91Ec		VF16h	95-159	95-159	鉄塊系遺物	偏平	39	4.7	4.1	1.4	2	0	欠						0				
196 91Ec		SD47	95-314	95-314	流動洋B	棒状	0.3	0.9	0.7	0.4	0	0	完						0				
197 91Ec		SD47	95-314	95-314	流動洋B	棒状	0.2	0.9	0.6	0.5	0	0	完						0				
198 91Ec		VF16g, h	95-183	95-183	流動洋A	偏平	1	2.4	1.1	0.8	0	0	完						0				
199 91Ec		VF15j	95-190	95-190	合鉄遺物	棒状	8	5.3	1.1	0.8	2	0	欠						0				
200 91Ec		VF16g	95-312	95-312	合鉄遺物	棒状	2	2.3	0.7	0.7	1	0	欠						0				
201 91Ec		VF16g, h	95-192	95-192	合鉄遺物	棒状	6	3.7	1.1	1.2	2	0	欠						0				
202 91Ec		VF16g	95-311	95-311	合鉄遺物	棒状	3	3.4	0.9	0.8	1	0	欠						0				
203 91Ec		北ノノ	95-189	95-189	合鉄遺物	棒状	3	2.2	1.1	0.7	2	0	欠						0				
204 91Ec		検1 No1	95-218	95-218	合鉄遺物	棒状	5	4.2	0.5	0.4	3	2	欠						0				
205 91Fa		検1 No2	95-220	95-220	合鉄遺物	棒状	4	1.9	1.3	1.2	2	0	欠						0				
206 91Fa		SK143	95-163	95-163	合鉄遺物	棒状	1	2.6	0.6	0.5	1	0	欠						0				
207 91Fa		SK147	95-278	95-278	流動洋A	偏平	4	2.3	1.8	0.7	2	0	欠						0				
208 91Fa		東半	95-151	95-151	合鉄遺物	棒状	48	10.7	1.8	1.6	2	2	完						0				
209 91Fa		P23	95-165	95-165	鉄製品	棒状	17	7.9	1.2	1.4	1	0	完						0				
210 91Fa		P26	95-191	95-191	合鉄遺物	棒状	20	8.6	1.5	1.3	1	0	完						0				
211 91Fa		SK145	95-166	95-166	合鉄遺物	棒状	13	3.1	2.2	1.8	2	0	欠						0				
212 91Fa		SD75	95-317	95-317	合鉄遺物	棒状	7	2.5	1.7	1.5	1	0	欠						0				
213 91Fa		SD75	95-317	95-317	合鉄遺物	棒状	3	2.5	1	0.8	2	2	欠						0				
214 91Fa		SD75	95-316	95-316	合鉄遺物	棒状	30	6.7	2.3	1.5	1	0	完						0				
215 91Fa		SD82	95-288	95-288	合鉄遺物	棒状	6	3.2	1.3	1.1	2	0	欠						0				
216 91Fa		SD82	95-288	95-288	合鉄遺物	棒状	2	2.4	0.6	0.6	2	0	欠						0				
218 91Fa		SD89	95-304	95-304	合鉄遺物	棒状	2	1.3	0.7	0.6	2	0	欠						0				
219 91Fa		SD89	95-303	95-303	合鉄遺物	偏平	4	3	1.3	0.4	2	0	欠						0				
220 91Fa		東	95-211	95-211	合鉄遺物	棒状	5	2.6	0.9	0.8	2	0	欠						0				
221 91Fa		SD91	95-162	95-162	合鉄遺物	偏平	9	3.2	2.7	0.3	2	0	欠						0				
222 91Fa		SD97	95-169	95-169	合鉄遺物	棒状	2	2.3	1	0.5	1	0	欠						0				
223 91G		SD35	95-205	95-205	合鉄遺物	偏平	7	2.6	1.9	0.8	2	0	完						0				
224 91H		SD116	95-164	95-164	合鉄遺物	棒状	5	4.1	1	0.9	2	0	欠						0				
225 91H		SD117	95-264	95-264	合鉄遺物	棒状	11	4.7	1.3	1.1	2	0	完						0				
226 91H		SD117	95-263	95-263	流動洋A	偏平	10	3	2.4	1.2	1	0	完						0				

第5表 堀之内花ノ木遺跡遺跡出土鉄資料一覧(4)